

● 地域提案型

平成19年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	メキシコ
2. 事業名	メキシコ市の水道水質管理プロジェクト II Potable Water Quality Control Project II in Mexico City
3. 事業の背景と必要性	<p>メキシコ市は西部から良質な河川系水道水が配水されている一方で、地下水系水道水を水源としている北部では、源泉の細菌汚染や不完全な下水処理など地下水汚染による水質の悪化が課題となっている。また、塩素消毒が不安定で、衛生的な水道水が供給されていないため、メキシコ市民の水道水に対する信頼性は高いとは言えないのが現状である。メキシコ市民の水道水に対する信頼性を向上させるためには、西部においては、河川系水道水の水質管理を進め、南東部においては、地下水系水道水の水源に応じた浄水処理を行うことが必要である。</p> <p>平成17年度から19年度にかけて実施した草の根技術協力「水道における水質管理」において、メキシコ市が抱える上記の課題に対し、名古屋市上下水道局の有する水質管理技術を活かせるとの判断から、事業を継続し、より実践的で効果的な研修を実施して、メキシコ市の技術者に当局の技術を継承し、メキシコ市における水道水の水質を改善することを目指す。</p>
4. 事業の目的	<p>メキシコシティの市民に対して、継続的に安全な飲料水が供給される。</p> <p>メキシコ市内でモデル地区を選定し、残留塩素の管理を実施する。地下水系水道水の水質を改善するための上下水道技術者の育成をめざす。</p>
5. 対象地域	メキシコシティ（モデル地区を選定）
6. 受益者層	メキシコシティ市民
7. 活動及び期待される成果	<p>【活動】</p> <p>（1年次）現地にも名古屋市上下水道局職員を派遣し、技術的な指導を行うとともに、今後の進め方について話し合う。また、同局にメキシコ市水道システムから研修員2名を受け入れて必要な知識を習得してもらう。</p> <p>（2年次）職員の現地派遣により、アクションプランの取り組み状況を確認するとともに、補完的な技術指導を行う。受入研修では、課題解決のための水道水質に関する知識を習得してもらう。</p> <p>（3年次）職員の現地派遣において3年間の集大成としての研修成果を確認するとともに、補完的な技術的な指導を行う。受入研修では、「残留塩素の管理」と「水質管理の改善」に関する応用的な研修を行う。</p> <p>【期待される成果】</p> <p>（1年次）過去3年間（平成17～19年度）に実施した研修成果を踏まえて策定したアクションプランを基に、平成20年度以降の具体的な取組内容について盛り込んだ「メキシコ市における水道水質改善施策に関する協定書（仮称）」を策定し、締結する。</p> <p>（2年次）協定書を遂行するうえで課題に直面した際に自ら解決できるよう、名古屋市の水質技術を継承した職員が育成される。</p> <p>（3年次）アクションプランを実行するモデル地区の水道水の水質が改善される。</p>
8. 実施期間	平成20年6月～平成23年3月
9. 事業の実施体制	メキシコ市水道システムを実施機関とし、名古屋市上下水道局が技術移転と事業実施支援を行う。3カ年の事業期間の中で、名古屋市における研修員の受入と専門家の現地派遣を交互に行い、支援していく。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名（提案自治体）	名古屋市上下水道局（愛知県名古屋市）
2. 対象国との関係、協力実績	平成17年度～平成19年度「水道における水質管理」（地域提案型）を実施